OTCスワップ型

【684A】
SMT　10年円金利【略称】

SMT　ETF円金利フィクスト・グリッド（10年固定金利払い／OTCスワップ型）【正式名称】



- 主としてわが国の短期公社債に投資するとともに、トータル・リターン・スワップ取引を行い、対象指数である「10年円金利フィクスト・グリッド指数」に連動する投資成果を目指すETF（上場投資信託）です。
- 国内組成のETFであり、通常の株式と同様に全国の証券会社にてお取扱いしています。

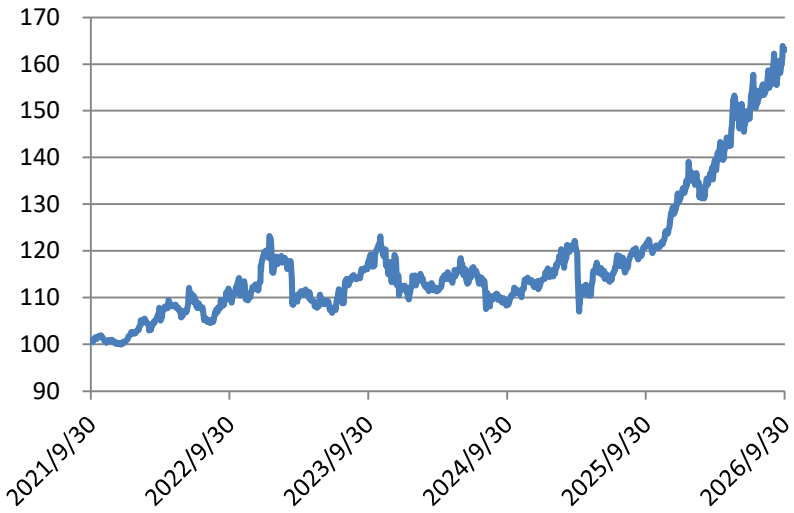
1. SMT　ETF円金利フィクスト・グリッド（10年固定金利払い／OTCスワップ型）の概要　（2026年11月13日　現在）

銘柄名	SMT　ETF円金利フィクスト・グリッド（10年固定金利払い／OTCスワップ型）		
銘柄コード	684A		
対象指標	10年円金利フィクスト・グリッド指数		
計算期間（※1）	毎年10月12日から翌年10月11日		
分配金支払基準日	毎年10月11日（年1回）		
管理会社	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社		
信託受託会社	三井住友信託銀行株式会社		
上場取引所	東京証券取引所		
売買単位	1口単位	Indicative NAV/PCFの開示（※2）	あり（予定）
信託報酬	0.18%（税込：0.198%）以内	上場日	2026/12/2（予定）

※1　ただし、第1計算期間は、2026年12月1日から2027年10月11日までとします。

※2　Indicative NAVとは、PCF情報に現時点の株価を乗じることによって算出されるリアルタイムの推定純資産額（1口あたり）、PCFとは、管理会社よりご提供をいただいたポートフォリオ構成銘柄情報ファイルのことを指します。ここでは東証を通じて開示しているIndicative NAV/PCF情報の有無を記載しています。

2. 対象指標の推移（2021年9月30日～2026年9月30日）



■ 対象指標の騰落率

期間	対象指標
過去1ヶ月	+3.29%
過去3ヶ月	+9.93%
過去6ヶ月	+17.21%
過去1年	+34.8%
過去3年	+38.77%
過去5年	+61.99%

3. 投資対象について

主としてわが国の短期公社債に投資するとともに、トータル・リターン・スワップ取引を行い、対象指数である「10年円金利フィクスト・グリッド指数」に連動する投資成果を目指します。

4. 対象指標の概要

対象指標は、バークレイズ・バンク・ピーエルシーが開発した指数で、円金利10年IMM固定払いスワップ※を投資対象とし、3か月ごとに新たなスワップにロールオーバーすることで、円金利10年IMMスワップレートの日次変化幅に対して金利感応度ファクター（約25）を乗じたリターンを指数化したものです。なお、指数のリターンは、投資対象とするスワップの取引コストを控除して算出されます。同コストは市場環境等によって変動するため、事前に料率を示すことができません。

※IMMスワップとは、3月、6月、9月及び12月の第3水曜日を開始日とする市場で一般的に取引される金利スワップをいいます。

5. OTCスワップ型ETFの信用リスク

- 当ETFはOTCスワップ型ETFです。
- OTCスワップ型ETFとは、連動対象の指標のリターンを交換するトータルリターンスワップ契約を活用することで、ETFの一口あたり純資産額の変動率と対象指標の変動率を一致させる運用手法を採るETFを指します。OTCスワップ型ETFでは、従来の指標連動型ETFと比較してトラッキングエラーの低減が期待できる反面、スワップ契約のカウンターパーティーの信用リスクが存在します。
- OTCスワップ型ETFの多くは、スワップ契約締結にあたり、契約担保を双方が出し合う内容となっており、万が一、スワップ契約の相手方が破綻しても、スワップ契約の相手方が提供した受入担保を換金することで損失が生じない仕組みとなっていますが、スワップ契約の相手方の破綻により連動対象指標のリターンの交換が停止されるため、ETFの一口あたり純資産額の変動率と対象指標の変動率が維持できなくなります。その結果、ETFの基準価額が下落することもありえます。
- また、スワップ契約の相手方が提供する担保の種類によっては、ETFが相手方に差し入れた提供担保と同額の換価を得られない場合もあり、その結果、ETFの価値が下落又は無価値になることもあります。OTCスワップ型ETFの投資にあたっては、スワップ契約の相手方の健全性を確認し、スワップ契約の相手方の信用状況を十分に把握することが重要です。
- OTCスワップ型ETFは、信用リスクへの対応として、変動証拠金の日次での授受など、非清算店頭デリバティブ取引の証拠金の適切な管理に係る態勢の整備や、OTCスワップ契約を別の資産へ迅速に切り替えを行う体制の整備などのリスク低減策を講じています。これらの情報や、スワップ契約相手方は、「指標連動有価証券等組入型ETFに係る管理体制等に関する報告書」に記載されています。投資に当たっては、これらの情報にご留意いただく必要があります。

6. ETF情報入手一覧

- 当ETFに関するより詳細な商品概要
  https://www.smtam.jp/fund/fundgroup/24/
- 基準価額（一口あたりの純資産額）等に関する情報
  https://www.jpx.co.jp/equities/products/etfs/base-price/index.html
- 情報ベンダーコード

情報ベンダー名	QUICK	Bloomberg	Refinitiv
ETFコード	684A/T	684A JP Equity	684A.T
対象指標	ー	BXIITY10	ー

- 10年円金利フィクスト・グリッド指数の算出要領
  以下ページの「Documents」の項目をご確認ください。
  https://indices.cib.barclays/IM/12/en/indices/details.app;ticker=BXIITY10

7. 免責事項

- 当資料は、作成時におけるETFの概要説明のみを目的としており、投資勧誘を目的としているものではなく、また金融商品取引法に基づく開示資料ではございません。
- ETFは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、連動対象である指標及び外国為替相場の変動、組入有価証券等の価格の変動、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況等の悪化、その他の市場要因の影響等により、市場取引価格又は基準価額が値下がりし、それにより損失が生じることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではありません。また、信用取引を利用する場合には、差し入れた保証金以上の損失が生ずるおそれがあります。
- ETFの売買を行われるに際しては、あらかじめお取引先の金融商品取引業者等より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、販売手数料、信託報酬などの手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で行っていただきますよう、お願い申し上げます。
- 当資料は、2026年11月現在の内容です。その以後、制度の改正等により、当資料に掲載した内容が予告なく変更される場合があります。また、この資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。当社は、当資料及び当資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。
- 本資料の一切の権利は当社に属しており、いかなる目的を問わず、無断複製・転載を禁じます。

＜お問い合わせ＞
株式会社東京証券取引所 上場推進部 ｜〒103-8220 東京都中央区日本橋兜町2-1｜ Tel:03-3666-0141（代）

Copyright © 2026 Tokyo Stock Exchange, Inc. All rights reserved.